

# 策定します！ 「第6次寄居町総合振興計画」 基本構想

## 『可能性8 笑顔満タン』よりいまち』を目指して！

町では、平成29年度から10年間の道のりとなる「第6次寄居町総合振興計画」の策定を進めています。町民意識調査や、まちづくりの計画策定町民会議などでいただいたご意見を踏まえて作成した基本構想(案)について、皆さんからの意見(パブリックコメント)を募集しています。

町は、これまで将来像を「自然と産業が調和する 創造のまち 寄居」とする第5次寄居町総合振興計画に基づき、施策・事業を体系的に展開してきました。その間、急速な人口減少や少子高齢化が進むなど、過去に経験したことのない状況下にあります。

そのため、これまで以上に町民の皆さんと町が一体となり、未来を見据えて町の活力や暮らし続ける魅力を持続させていけるまちづくりを進めていく必要があります。

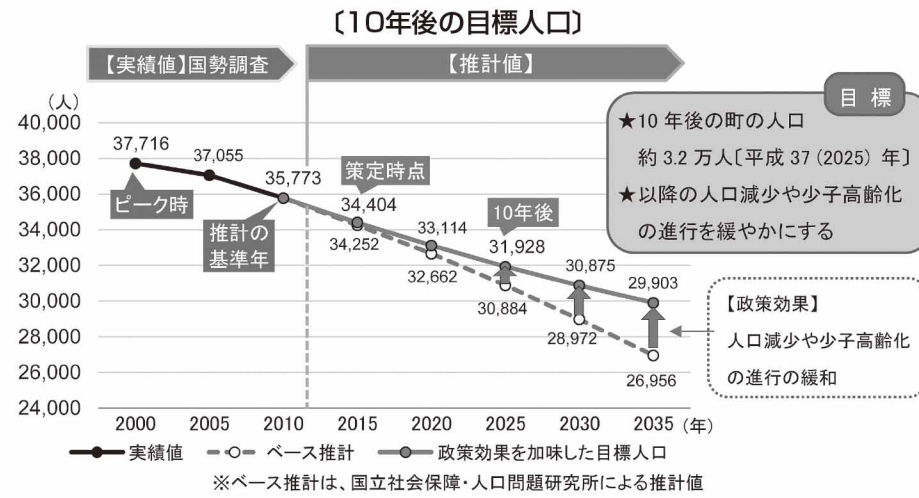
こうしたことを踏まえて、以下の5つの視点を重視して、新しい総合振興計画(基本構想・基本計画)を定めていきます。

### 計画策定の5つの視点

- 強みの発揮  
働く場、暮らす場、豊かな時間を過ごす場、事業を起す場を過す町が、皆さんの人を選ばれるよう、他にない魅力や強みを引き出すことを意識した計画とします。
- わかりやすい計画体系  
施策・事業体系をわかりやすく簡素化し、町の目指すがた・基本目標に向かって、町民と町が一体となって取り組みやすい計画とします。
- 施策・事業の重点化  
限られた財源や人的資源などを有効に活用し、必要な成果を挙げるために施策・事業の重点化を意識した計画とします。
- 継続的な取り組みの展開  
社会潮流の変化に柔軟に対応しつつ、長期展望のもと着実に成果を得られるよう、戦略的施策・事業に継続的に取り組める計画とします。
- 検証と改善による実効性確保  
目指す成果と施策・事業の効果を数値等の指標で結びつけ、進捗管理や施策・事業実施後の効果検証・改善がしやすい計画とします。

### ◆ 将来人口の想定

人口減少、少子高齢化が急速に進んでいることを踏まえて、町民の結婚・出産・子育てへの支援や、転入・転出の動向の改善などへの取り組みが必要です。こうした居住地としての魅力づくりのための多様な政策を展開することで、10年後の平成37(2025)年に約32万人の人口を維持し、以降の人口減少や少子高齢化の進行を緩やかにすることを目標とします。



### 人口減少下においても「持続可能なまち」となるため

- 将来もずっと働きやすい、暮らし続けられ、訪れることが楽しいまちとなるための基本課題は次のとおりです。この課題は、基本構想において「町が目指すがた」を定めるうえで基礎となります。
- ① 未来に志を持った子どもがたくましく育ち、希望を持って自分らしい生き方を選択しながら活躍できる地域社会をつくる
  - ② 広域交流圏や環境技術等を活かしたブランド力のある産業やまちの賑わいを創出して、魅力ある働き方を増やす
  - ③ 町民の健康を支え、地域でいきいきと活動して、永く暮らせる長寿社会をつくる
  - ④ 人口規模に見合った安全で暮らしやすいまちをつくる
  - ⑤ 自慢の自然と歴史・文化の資源に親しめる環境を充実させ、町のファンを増やす

### 『可能性8 笑顔満タン』よりいまち』まちづくりの取組

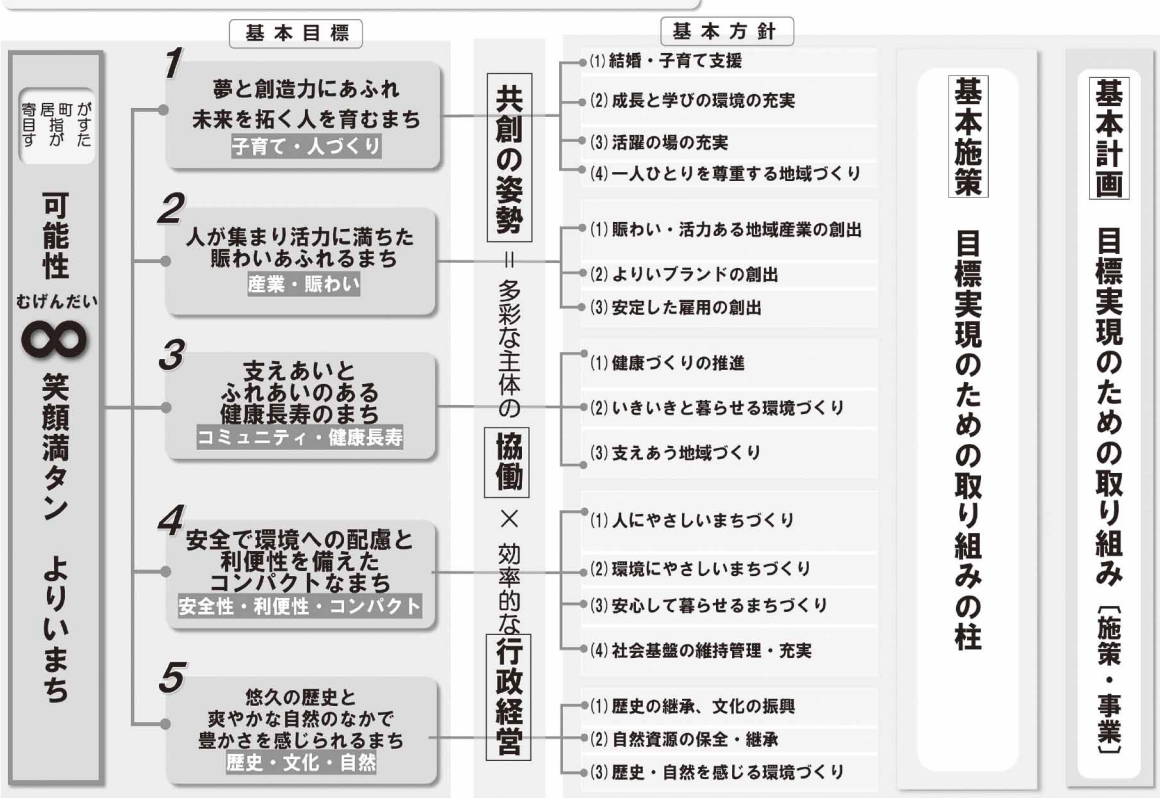
「町が目指すがた」に向けて、基本目標を定め、その目標達成のための基本方針を下記のとおり、体系図にまとめました。

### 共創の姿勢でまちづくりを展開する

第6次総合振興計画の施策・事業を具体化する際には、多彩な主体の協働や効率的な行政経営を通じて、まちづくりにおける取り組みの効果が高まるよう、「共創の姿勢」を重視していきます。

※「共創」とは、共通の目的のもとに異なる立場の主体が集まること、そしてそれぞれが持つ力を結集してものごとに取り組み、時には外部の力も迅速に活用して、チームとして価値あるものを創り出すこと、その結果として社会に変革をもたらすこと。

### ■ 第6次 寄居町総合振興計画 基本構想【素案】体系図



### ◆ 町民意識から見る町に対する満足度・重要度の変化

アンケート調査によって町民満足度を経年的に比較した結果、満足度が改善した項目がある一方で、中心商業地や観光業・商業など、町の賑わいに関する満足度は、10年前に比べて大きく低下しています。このほか、10年前より満足度が大きく低下しているものうち、保健・医療や公共交通の利便性に関しては、重要度が高いとする町民が多く、今後のまちづくりにおいては、特に着目すべき課題として捉える必要があります。

### 【町民の満足度(平均スコア※1)の比較】

平成17年(上位5項目)	スコア	平成27年(上位5項目)	スコア	10年前との比較増減
自然環境	1.05	自然環境	0.53	-0.52
景観	0.82	景観	0.38	-0.44
商業の振興	0.32	水辺の環境*2	0.16	-
歴史的資源の継承	0.24	歴史的資源の継承	-0.03	-0.27
保健・医療	0.07	生涯学習	-0.06	0.13
		情報公開	-0.06	0.16
平成17年(下位5項目)	スコア	平成27年(下位5項目)	スコア	10年前との比較増減
国際交流	-0.82	中心商業地の賑わい	-1.40	-0.97
財政運営	-0.79	観光業の振興	-0.85	-0.41
行政運営	-0.74	公共交通の利便性	-0.73	-0.69
工業の振興	-0.71	商業の振興	-0.68	-1.00
町民参加	-0.71	女性の就労支援*2	-0.67	-

### 【町民の重要度の比較】

平成17年(上位5項目)	割合	平成27年(上位5項目)	割合	10年前との比較増減
保健・医療	29.5%	中心商業地の賑わい	32.8%	14.0%
財政運営	26.5%	商業の振興	27.8%	11.8%
公共交通の利便性	22.6%	保健・医療	26.7%	-2.8%
自然環境	22.5%	高齢者の健康*2	24.1%	-
防犯・交通安全	21.6%	公共交通の利便性	23.6%	1.0%
平成17年(下位5項目)	割合	平成27年(下位5項目)	割合	10年前との比較増減
国際交流	1.4%	国際交流	0.6%	-0.8%
男女共同参画社会	4.3%	町の情報環境	0.6%	-9.0%
地域活動	4.6%	林業の振興	2.2%	-3.4%
芸術・文化	4.9%	情報公開	2.6%	-4.1%
林業の振興	5.6%	男女共同参画社会	2.8%	-1.5%

※(出典)寄居町 町民意識調査/平成17(2005)年度、平成27(2015)年度  
※1:平均スコアとは、「満足」を2点、「ほぼ満足」を1点、「不満」を0点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点として算出したもの。0点を基準に、数値が大きいほど全体の満足度が高く、小さいほど全体の満足度が低いことが示される。  
※2:平成17年度調査で設定していない項目